

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 水稻栽培が中心の中山間地域
- 地域の農業者の高齢化や減少による担い手不足により、地域農業の継続が懸念される。農地の保全や担い手の確保が課題。

【支援内容・背景】

- 地域の話し合いにより農地の利用調整を行い、市が実施する農業研修の修了生等を受け入れ、農地の利活用を進めている。
- 助成対象者は地区の中心的な担い手であり、観光農園を目指してイチゴ等栽培規模の拡大を計画していることから、農地集積や、栽培施設の拡大を支援。



助成対象者「農業者T」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成19年～N農園（広島市）にて研修
- 平成21年 T農園の代表となり薬物野菜生産で就農
- 令和2年 イチゴ栽培開始
- 令和4年 市内の他地区でブドウ栽培開始

《事業活用の背景》
 ○ イチゴ等の観光農園への経営転換のためには、農地集積や経営規模の拡大、スマート農業技術の導入による生産量の増加が必要。そのため、栽培施設の増設と併せて環境制御機器を導入する。

【事業実施時の状況】
 〈R2年度〉

- 経営面積 3.75ha
- 売上高 49百万円
- 栽培品目 コマツナ
イチゴ

《事業による整備内容》

- 高設栽培施設（いちご）（1,260㎡×2棟）
- 複合制御盤及びアグリネット設備機器
- ハウス暖房施設
- 自動カーテン設備
- 自動カーテン制御装置
- 炭酸ガス発生機
- 事業費 19,300千円
（国費 5,336千円）



【現在の経営状況】
 〈R5年度〉

- 経営面積 4.10ha(109%)
- 売上高 53百万円(108%)
- 栽培品目 イチゴ
ブドウ



事業の
効果

《対象者》面積の拡大と併せて、環境制御技術の導入等により観光農園が実現し、生産量及び売上高が増加。
 《地区》長期的に農業経営が継続でき、地域の担い手となる経営体が確保できた。